

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)Belles大州

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.3
1 音環境						3.0	0.15	3.4	1.00	3.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.9	0.50	
1 開口部遮音性能		T-2等級使用				3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		界壁W=180以上					-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		スラブ面積25㎡に対するスラブ厚200mm					-	4.0	0.20	
1.3 吸音							-	3.0	-	
2 温熱環境						1.0	0.35	3.0	1.00	2.5
2.1 室温制御						1.0	1.00	3.0	1.00	
1 室温						-	-	-	-	
2 外皮性能						1.0	1.00	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性							-	-	-	
2.2 湿度制御						-	-	-	-	
2.3 空調方式						-	-	-	-	
3 光・視環境						2.3	0.25	4.0	1.00	3.6
3.1 昼光利用						1.8	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率		住戸3.85%以上				1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口							-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御		庇・カーテンレール(ボックス)の設置				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						4.2	0.25	4.3	1.00	4.3
4.1 発生源対策						5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		室内に使用する建築材料すべてにF☆☆☆☆を使用する。				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		居室面積の1/7.5開閉可能な窓を設置					-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.6	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性							-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		各住戸情報盤まで光ケーブル入線対応					-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観							-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-	-	-	
3 内装計画		コンセプトを基本に照明・仕上材の計画を行っている。				4.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		汚れにくい材料の設定、適材適所の材料の選定、床段差の解消を				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		適切な維持管理が行えるよう計画した。				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		スパイラルダクトの使用、ダクト勾配を1/100程度確保する。				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		期待耐用年数B以上を使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり		-	-	2.6	-	0.50
1 階高のゆとり		-	-	3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BE][BEIm]: 0.92	3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材及び躯体+クロス仕上とし分別を比較的容易にして	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.9	0.20	-	-	2.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用	接着剤、シーリング等シックハウス対策品を使用	5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		2.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		2.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止	家庭用ガス給湯器(エコジョーズ)を採用	4.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1 騒音		3.0	0.33	-	-	-
2 振動		3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告用照明を適切に設置	4.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-